



中・高校生向け

まちづくり

利便性

コンパクトプラス
ネットワーク

鉄軌道導入効果体験

鉄軌道を体験して学ぼう!

神戸市
2泊3日



事業の目的

沖縄県では、平成30年5月に、鉄軌道構想段階の計画書を策定し、その中で、那覇⇄名護間を1時間で結ぶ概略ルートを決めました。今回、次世代を担う中学生及び高校生を対象に、鉄軌道を中心とした交通ネットワークが整備された県外での移動体験(乗車・定時性・速達性・乗継利便性)や駅周辺の機能集積・まちづくり等を学び、体感し、その結果等を活用しながら沖縄で期待される鉄軌道の導入効果を発信して頂きます。

日程 令和5年8月2日(水)～8月4日(金)

訪問地 兵庫県神戸市など

対象者 沖縄県内の中学生・高校生

費用 **無料** ※集合場所(那覇空港予定)までの移動や事前研修・事後研修・発表の際の会場までの移動等は自己負担でお願いいたします。

定員
12名
程度

※新型コロナウイルス感染症の影響や、その他の都合により訪問地や宿泊場所及び研修日数を変更する場合がございます。

※事前研修(7月16日回)・事後研修(9月10日回)及びイベント会場での発表会(11月25日回)に参加できることが条件となります。(研修やイベントの日程は、土日祝日より設定いたします)

※本研修は多くの報道機関や開催の様子を取材・報道いたします。取材を受けていただいた場合は報道される可能性がございます。また、インタビュー取材以外にも研修の様子を撮影した映像を沖縄県の広報に使用いたしますので、予めご了承ください。

応募
締切

6/30 **金**
まで

※郵送の場合必着

詳しい日程や応募条件・申し込み方法はWEB・裏面を御覧ください➡

鉄軌道が導入されたら沖縄はどう変わる？

天気や渋滞に左右されず、鉄軌道などの様々な移動手段を活用し、時間通りに目的地へ移動することができたら、私たちの生活スタイルはどのように変化するのでしょうか。

概略ルート

路線延長
約68km

計画書では、左のルートが概略ルートとして示されています。

事業効果について

**南北間の
交流人口の増加等**

**まちづくりへの
インパクト**

県民や観光客の交通手段や行き先の選択肢が広がり、南北間の交流人口や沿線住民（特に高齢者）の外出機会が増加する可能性があります。

観光まちづくりや駐留軍用地跡地の活性化、中心市街地の活性化などのコンパクトなまちづくりへの寄与が期待されます。

[経由市町村] 那覇、浦添、宜野湾、北谷、沖縄、うるま、恩納、名護

鉄軌道が導入された場合、移動時間はどうなる？

例えば・・・

うるま市屋慶名から那覇に朝8時台に移動するためには、6時頃に家を出る必要がありますが、鉄軌道を利用すると7時頃に家を出ても同じ時間に那覇に到着することができます。

移動イメージ

うるま市屋慶名バスターミナル → 那覇バスターミナル

現状: 6:20発 路線バス利用 8:10着

鉄軌道導入後: 7:07発 路線バス利用 + 乗換時間 + 鉄軌道利用 8:10着

鉄軌道が導入され、路線バスやコミュニティバス等と組み合わせることで、いろいろな場所に効率的に移動できるようになります。

鉄軌道が通らない市町村は関係ないの？

鉄軌道導入効果体験申し込み方法 応募要項を確認の上、保護者の方の同意を得てご記入ください。当選者には、後日、保護者の同意書を提出いただきます。

WEB 下記のURLか右のQRコードよりアクセスし応募フォームにご記入ください。

<https://www.tetsukidou-learn.com>

鉄軌道 イベント

検索

申し込み締切日

6/30

(金曜日)

※郵送の場合必着

フリガナ		性別	年齢		
氏名	Ⓜ	男・女	歳	学校名	学年
電話番号 (本人)	() -	フリガナ			
メールアドレス	@	保護者氏名	Ⓜ		
ご住所	沖縄県	市	町	村	
自己PR			応募理由		

※定員に達した場合は、抽選にて参加者を決定致します。当選した方のみ2023年7月上旬までに当選のご連絡いたします。連絡がない場合は、申し訳ございませんが、落選となります。
 ※応募前に必ず行程や規約等の詳細をホームページにてご確認ください。※持病や障がいへの配慮が必要な生徒は、申込みに併せてweb上の主治医指示書の提出をお願いします。